# 海外展開事例「有機食品へのこだわりが深い海外へ「有機みそ」を販売」

| | |
|---|---|
| 社名 | マルカワみそ 株式会社（福井県越前市） |
| 設立 | １９８５年（１９１４年創業） |
| 資本金 | １０百万円 |
| 売上高 | ２５０百万円（平成２６年度） |
| 従業員 | ３２名 |
| 事業内容 | 有機みその製造・販売 |

【ドイツでの販売品　桶シール】

## 新たな事業展開を目指した背景と経緯

●もともと有機原材料を使用しない「みそ」を製造・販売していたが、健康志向や安心安全な食品を求める消費者の増加や、アトピーなど食物アレルギーをもつ消費者に安心して食べてもらえるみそづくりを目指して、有機だけの「みそ」を製造する企業となった。
（現在、木桶７５本を所有）

●健康志向、自然志向の高い消費者をターゲットとした「有機みその加工食品」の開発を計画、有機ＪＡＳ認定の大豆生産者の有限会社ベルセゾンファーム（北海道）と連携して、農商工連携事業の認定を目指した。

## 活用施策

●農商工連携事業（平成２４年２月認定）
（認定事業名：国産大豆を１００％使用し、化学調味料を使用しない有機みその加工品開発・販売事業（みそ、フリーズドライ、みそ汁））
●農商工連携の補助事業（有機みそ試作品の生産）
●中小機構専門家によるハンズオン支援（平成23年12月～現在）
●越前市環境貢献事業（補助金）

## 事業展開

＜　国　内　＞
●フリーズドライ商品（インスタントみそ汁など）等の開発
・オリジナル商品としてフリーズドライ商品を国内外で販売。
・大手自然食品チェーンと共同開発品を生産し、首都圏等で販売。
●販売の増加に伴い、自社店舗・出荷場を新築。

＜　海　外　＞
●中小機構などから海外展開情報を収集。
●取引先の商社、バイヤーを通じて、現地ニーズや現地情報を収集。
●有機栽培の米、大豆で作ったねりみそは多くの国で需要が高く、商社等を通じての輸出を本格的に展開。

## 事業成果

＜　国　内　＞
●販売先が大幅に変化
・有機専業となって以降、自然食品チェーン等の販売先が増加。

＜　海　外　＞
●商社を通じて海外展開を促進。海外への出荷比率は５０％超。
●特に、ヨーロッパ、オーストラリア、東アジアの消費者から多くの支持を得る。
●海外（特にヨーロッパ）では、伝統的な製造方法等の関心が高く、当社の木桶がのった桶シール等が好評。